

患者さん・ご家族の皆様へ

2018年11月2日

『バルサルタン錠「AA」』の回収に関する報道について(第2報)

本年7月9日、高血圧治療薬である『バルサルタン錠「AA」』について、使用されていた原薬に発がん性の恐れがある物質であるN-ニトロソジメチルアミン(以下、NDMA)が混入していたため、本年7月5日より販売メーカーが自主回収を行っている旨をお知らせいたしました。

本件について、このたび厚生労働省より追加情報がありましたのでお知らせいたします。

～日本食品分析センターでの分析で新たに分かったこと～

1. 問題となっていた原薬には、NDMAだけでなく、同様に発がん性のあるN-ニトロソジエチルアミン(以下、NDEA)も微量ながら含有していたこと。
2. NDMA、NDEAともに『バルサルタン錠「AA」』のみから検出され、その他のバルサルタン製剤をはじめとする高血圧治療薬には、まったく問題がなかったこと。

～厚生労働省が設置した調査会での評価～

1. 検出されたNDMA、NDEAの含有量は極めて少なく、本剤を仮に最高用量の160mgで長期に服用していたとしても、そのことが原因でがんを発症するリスクは、非常に低いこと。

以前お伝えしましたとおり、本製品は2017年9月にすでに販売が中止されましたので、新たに処方されることはないと考えられますが、万が一お手元に『バルサルタン錠「AA」』の残りがございましたら、当院もしくはかかりつけ薬局までご相談ください。

なお、当院におかかりの患者さんには、かかりつけ薬局にて『バルサルタン錠「AA」』が調剤された可能性はありますが、入院中の患者さんに使用したことはございません。

その他、ご心配・ご不明な点などございましたら、当院までご遠慮なくご相談ください。

済生会横浜市東部病院
院長 三角 隆彦

(2018/11/2 薬剤部作成)